

特別活動計画

1 目標

- 望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主性、実践的な態度を育てる。

2 指導の方針

- 活動を通して、子どもたちが持っている力、可能性に気づかせ励ましていく。
- よりよい学校生活を築いていこうとする態度の育成を図る。

3 重点目標

- 自主的な態度を育てる学級活動の工夫
- 自治的な意識を高める児童会活動の工夫
- 児童一人一人の個性を尊重しあい、触れ合いを深めるクラブ活動の工夫
- 感動や連帯感を高める学校行事の工夫

4 指導の重点

(1) 学級活動の工夫

- ① 育てたい資質や能力を明らかにして、全体計画をふまえた学級ごとの年間指導計画を作成し、学級活動の改善に努めるとともに、実際の活動に当たっては、学級担任及び児童によって具体的な計画が立てられ、実践できるようにする。
- ② 活動に当たっては、児童が集団の中で自己を生かしていくため、児童一人一人が集団の一員として互いに尊重し合い、協力して活動できるような人間関係づくりに努める。
- ③ 児童が自主的に内容を決めて話し合い活動を行うようにしたり、適切な情報・資料を提供したりするなど、教師の適切な指導のもと、主体的な活動をはぐくむための指導の工夫をする。

(2) 児童会活動の工夫

- ① 一人一人の児童が尊重され、協力して活動が展開できるような児童会の組織にするとともに、指導のねらいを明確にした活動内容を設定する。
- ② 学校生活の充実と向上のために、児童がより具体的な計画が立てられるよう、学校として、児童の発意・発想に委ねる活動と委ねることができない活動を明らかにし、指導の場面や方法を全教師の共通理解して指導に当たり、児童がより具体的な計画が立てられるようにする。

(3) クラブ活動の工夫

- ① 学年や学級の所属を離れ、異年齢の集団活動としての良さを取り入れたものとしてクラブ活動が児童にとって望ましい集団活動となるよう、ねらいを明確にした指導計画を立てる。
- ② 児童自らが共通の興味・関心を友人と協力して追求することによって、個性の伸長と人間的なふれあいが深まるように、必要に応じて計画や運営についての児童の話し合いが行われるようにする。

(4) 学校行事の工夫

- ① 事前・事後の指導を適切に行い、行事のねらいや意義を理解させ、一人一人の児童に具体的な目標を持たせる。
- ② 学校生活に秩序と変化を与え、一人一人が感動できる機会や場を設定するよう努めるとともに、地域社会との関連を図る。
- ③ 学校行事の充実と改善を図るために適切に評価を行い、今後へ生かすようにする。